



**BASS MODULE 500**

## 安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

### 安全上の留意項目

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用して行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

### 警告/注意



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があります。このことをお客様に注意喚起するものです。



この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品のの上や近くに置かないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。
- 車内や船上などで使用しないでください。
- この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。
- 万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。
- 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- 製品ラベルは本体の底面にあります。

**注:** 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示通りに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本機と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

本機は、ラジエーターと身体の間を20cm以上離して設置して動作させる必要があります。

5150 ~ 5250MHzを使用するこのデバイスは、同一チャネルの移動体衛星システムへの有害な干渉の恐れを低減するため、屋内専用です。

レーザーカテゴリー=2

**CE** Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のアドレス先を参照してください。 [www.Bose.com/compliance](http://www.Bose.com/compliance)

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECに従い、以下の基準または文書に準拠しています: Regulation (EC) No. 1275/2008、改正版Regulation (EU) No. 801/2013

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ	ネットワーク待機
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	< 0.5W	Boseワイヤレス < 2.0 W
機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間	< 2.5時間	≤ 20分
すべての有線ネットワークポートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	該当なし	< 2.0W
ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	Regulation 801/2013 (1275/2008の「Lot 26」改正)のAnnex II 3(a)に従い、ワイヤレスポートを無効化するための要件は、「単一のワイヤレスネットワーク接続を使用目的とし、有線ネットワーク接続機能のない製品には適用されません。」	

ヨーロッパ向け:


運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz:

- Bluetooth/Wi-Fi: 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

運用周波数帯: 5150 ~ 5350 MHz および 5470 ~ 5725 MHz:

- Wi-Fi: 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

このデバイスを 5150 ~ 5350 MHz の周波数範囲で運用する場合、表に記載されているすべての EU 加盟国で屋内使用に限定されています。

									
BE	DK	IE	UK	FR	CY	SK	HU	AT	SE
BG	DE	PT	EL	HR	LV	LT	MT	PL	
CZ	EE	FI	ES	IT	RO	LU	NL	SI	



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることとなります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスの管理規制

第12条


「低電力無線デバイスの管理規制」により、会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。

第14条

低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信法に基づいて運用される無線通信を意味します。

低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

中国における有害物質の使用制限表

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
	有毒/有害物質および成分					
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	0	0	0	0	0
金属パーツ	X	0	0	0	0	0
プラスチックパーツ	0	0	0	0	0	0
スピーカー	X	0	0	0	0	0
ケーブル	X	0	0	0	0	0
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。						
O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。						
X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

## 台湾における有害物質の使用制限表

機器名: ワイヤレスベースモジュール、型式: 425843						
制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr+6)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○

**注1:**「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。  
**注2:**「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。

### 製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、ベースモジュールの底面に記載されています。

シリアル番号: \_\_\_\_\_

モデル番号: \_\_\_\_\_

この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをお勧めします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。

**製造日:** シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「9」は2009年または2019年です。

**中国における輸入元:** Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plant 9, No. 353 North Riyang Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

**EUにおける輸入元:** Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

**台湾における輸入元:** Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No.10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan  
 Phone Number: +886-2-2514 7676

**メキシコにおける輸入元:** Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F. Phone Number: +5255 (5202) 3545

**入力定格:** 100 ~ 240V ~ 50/60 Hz、55W

Android、Google Play、およびGoogle PlayのロゴはGoogle LLCの商標です。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

 HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIのロゴはHDMI Licensing Administrator, Inc.の米国および他の国々における商標または登録商標です。

AppleおよびAppleのロゴはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

ADAPTiQ、Bose、Bose Bass Module、Bose Music、Bose Musicのロゴ、Bose Soundbar、SoundTouch、音符と無線電波を組み合わせたデザイン、およびVirtually InvisibleはBose Corporationの商標です。

Wi-FiはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2019 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

**内容物の確認**

内容物 .....	9
-----------	---

**ベースモジュールの設置**

推奨事項 .....	10
------------	----

**電源**

ベースモジュールを電源に接続する .....	11
------------------------	----

**サウンドバーへの接続**

音声ケーブルを使用して接続する .....	12
音が出ることを確認する .....	14

**ADAPTiQ 自動音場補正**

自動音場補正の実行方法を選択する .....	15
Bose Music アプリを使用して ADAPTiQ 自動音場補正を実行する .....	16
Bose Music アプリを初めて使用する場合 .....	16
設定メニューを使用する .....	16
SoundTouch 300 のリモコンを使用して ADAPTiQ 自動音場補正を実行する ...	17

**低音設定**

低音の調整方法を選択する .....	19
Bose Music アプリを使用して低音を調整する .....	20
SoundTouch 300 のリモコンを使用して低音を調整する .....	20
低音設定を元に戻す .....	21

**ベースモジュールの状態**

ステータスインジケータ .....	22
-------------------	----

## 補足事項

お手入れについて.....	23
交換部品とアクセサリ .....	23
保証 .....	23

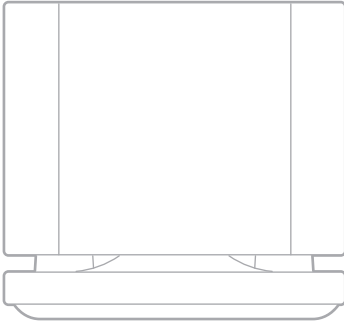
## トラブルシューティング

最初にお試しいただくこと .....	24
その他の対処方法.....	24
SoundTouch 300 soundbarでADAPTiQ自動音場補正を完了できない .....	26

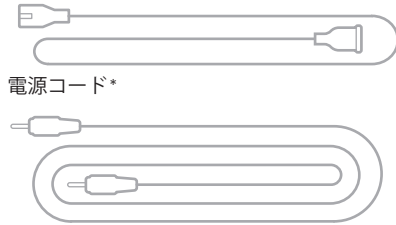


## 内容物

下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Bose Bass Module 500



電源コード\*

3.5 mm ステレオ音声ケーブル

\* 電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

**注:** 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、直ちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

次のサイトをご参照ください。 [worldwide.Bose.com/Support/BASS500](https://www.worldwide.bose.com/Support/BASS500)

## 推奨事項

最高のパフォーマンスを発揮するには、ベースモジュールを設置する際に次の推奨事項に従ってください。

ベースモジュールの上には物を置かないでください。

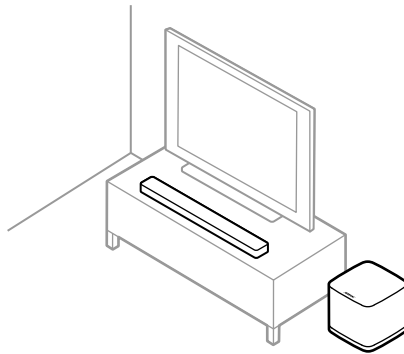
ベースモジュールを安定した水平な面に設置します。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でベースモジュールの位置がずれることがあります。

ベースモジュールをテレビと同じ壁に沿って置くか、あるいは左右の壁沿いでテレビの近辺(テレビのある壁から見て部屋の3分の1以内の場所)に置きます。

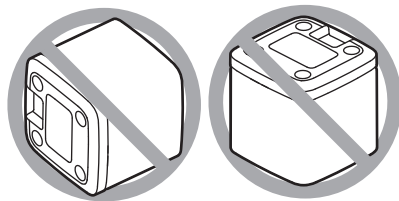
ベースモジュールの背面(Boseロゴのある側とは反対側)を、壁や家具などから8 cm以上離してください。前面下部にある開口部が塞がれると、音響性能が低下する恐れがあります。

低音を強めたい場合は、ベースモジュールを壁や部屋の隅に近づけてください。低音を弱めたい場合は、ベースモジュールを壁や部屋の隅から離してください。

電源コンセントが近くにある場所に設置してください。

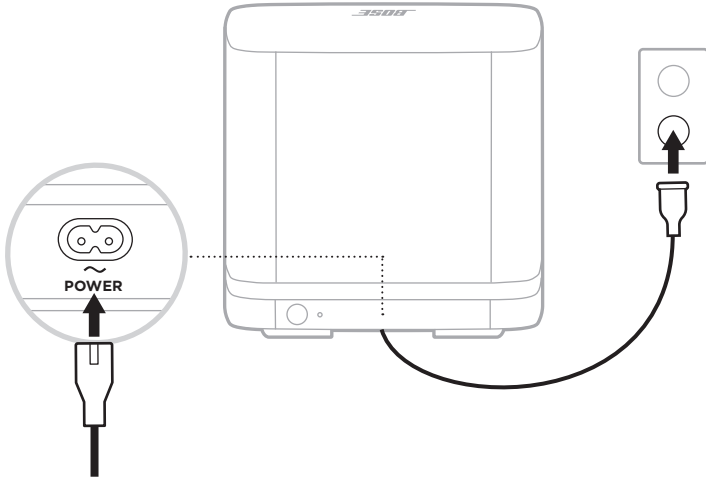


**注意:** ベースモジュールの天面や側面を下にした状態で使用しないでください。



## ベースモジュールを電源に接続する

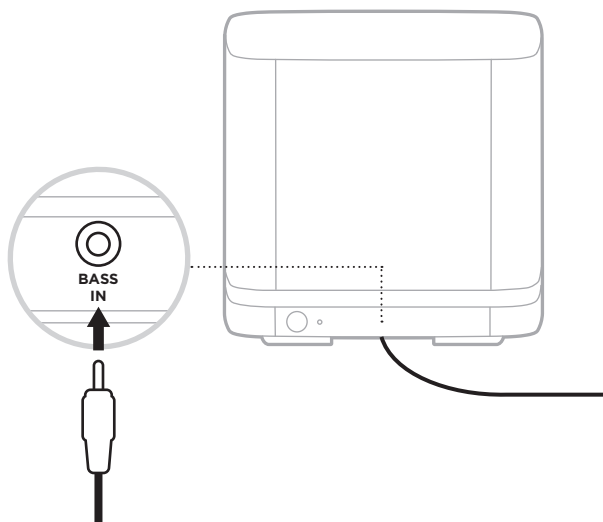
1. 電源コードをベースモジュールの POWER 端子に接続します。



2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。

## 音声ケーブルを使用して接続する

1. 3.5 mmステレオ音声ケーブルの一方を、ベースモジュールの **BASS IN** 端子に接続します。

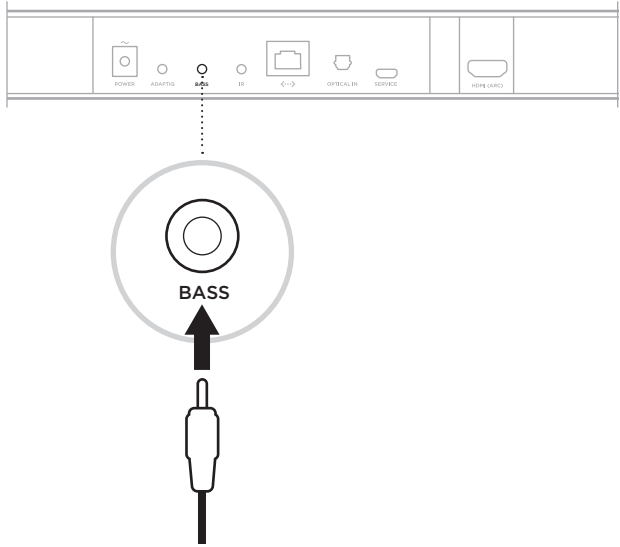


2. ケーブルのもう一方を、サウンドバーの背面にあるベースモジュール用端子に接続します (13ページを参照)。

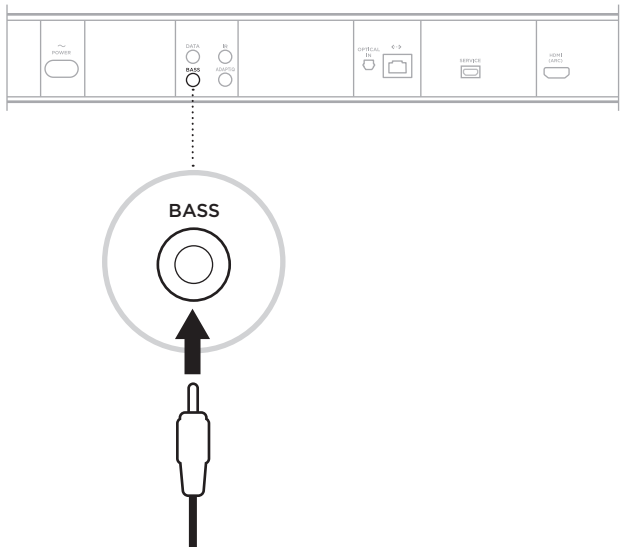
サウンドバー

ベースモジュール用端子の位置

Bose Soundbar 500

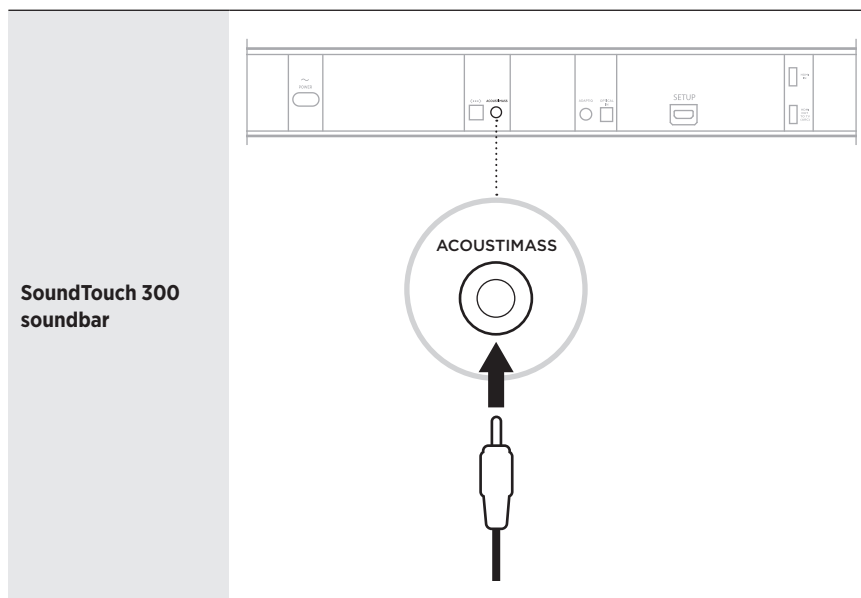


Bose Soundbar 700



## サウンドバー

## ベースモジュール用端子の位置



## 音が出ることを確認する

**注:** 音響パフォーマンスを十分にお楽しみいただくためには、テレビの内蔵スピーカーをオフにしてください。詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

1. テレビの電源をオンにします。
2. CATV/BS/CS用チューナーやその他の外部機器を使用する場合:
  - a. 接続機器の電源をオンにします。
  - b. 機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します。
3. サウンドバーの電源をオンにします。

接続機器の音がベースモジュールから聞こえます。

**注:** ベースモジュールから音が出ない場合は、「トラブルシューティング」(24ページ)をご覧ください。

ベースモジュールの設置とサウンドバーとの接続が終わったら、システムの音響性能を最大限に引き出すため、ADAPTIQ自動音場補正を実行します。ADAPTIQ自動音場補正は、システムが設置されている部屋の5箇所測定を行い、音場を補正します。音場補正を実行するには、お部屋を10分ほど静かな状態に保つ必要があります。

ADAPTIQ自動音場補正は、最適な音場にするためにADAPTIQ用ヘッドセット(サウンドバーに付属)に内蔵されたマイクでお部屋の音響特性を測定します。

ADAPTIQ用ヘッドセットがお手元にはない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

## 自動音場補正の実行方法を選択する

ADAPTIQ自動音場補正の実行方法はサウンドバーによって異なります。下の表から、自動音場補正の実行方法を選択してください。

サウンドバー	自動音場補正の実行方法
<b>Bose Soundbar 500 または Bose Soundbar 700</b>	Bose Music アプリを使用して ADAPTIQ 自動音場補正を実行します (16 ページを参照)。
<b>SoundTouch 300 soundbar</b>	サウンドバーのリモコンを使用して ADAPTIQ 自動音場補正を実行します (17 ページを参照)。

## BOSE MUSIC アプリを使用して ADAPTiQ 自動音場補正を実行する

### Bose Music アプリを初めて使用する場合

1. モバイル機器で Bose Music アプリをダウンロードします。



2. アプリの手順に従ってください。ベースモジュールをサウンドバーに接続すると、Bose Music アプリに ADAPTiQ 自動音場補正の実行を求めるメッセージが表示されます。

**ヒント:** オプションの Virtually Invisible 300 surround speakers または Bose Surround Speakers を後で接続した場合や、ベースモジュールや家具を移動した場合は、設定メニューから ADAPTiQ 自動音場補正を再度実行して音質を調整してください。

### 設定メニューを使用する

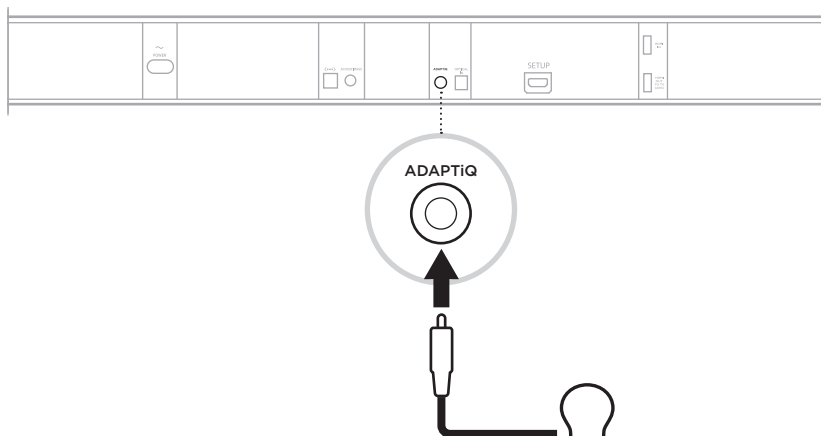
オプションの Virtually Invisible 300 surround speakers または Bose Surround Speakers を後で接続した場合や、ベースモジュールや家具を移動した場合は、ADAPTiQ 自動音場補正を実行して音質を調整します。

1. Bose Music アプリの [**My Bose**] 画面で、サウンドバーをタップします。
2. 画面の右下にあるサウンドバーの画像をタップします。
3. [**設定**] > [**ADAPTiQ**] > [**ADAPTiQ の実行**] をタップします。
4. アプリの手順に従ってください。






## SOUNDTOUCH 300のリモコンを使用してADAPTIQ自動音場補正を実行する

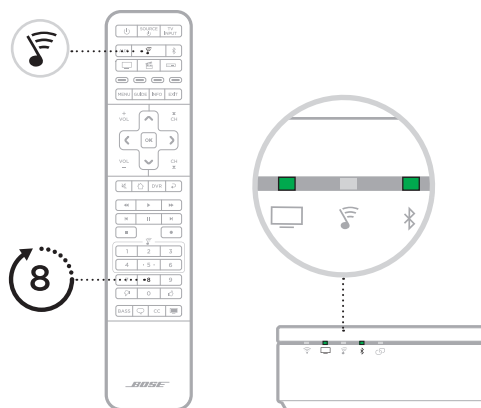
1. ADAPTIQ用ヘッドセットのケーブルをサウンドバーの背面にある ADAPTIQ 端子に接続します。





2. ADAPTIQ用ヘッドセットを装着します。

- リモコンのSoundTouchボタンを押します。
- サウンドバーのテレビインジケータおよびBluetoothインジケータが緑に点灯するまで8ボタンを長押しします。

ADAPTIQ自動音場補正が始まります。



**注:** 音声ガイドが日本語でない場合は、ナビゲーションパッドの  ボタンや  ボタンを押して言語を変更します。言語をリセットするには、8 ボタンを10秒間長押しします。

- 音声ガイドに従い、ADAPTIQ自動音場補正を完了します。

エラーメッセージが聞こえてADAPTIQによる自動音場補正を完了できない場合は、24ページをご覧ください。

- ADAPTIQ用ヘッドセットのプラグをサウンドバーから抜き、安全な場所に保管してください。

**ヒント:** オプションのVirtually Invisible 300 surround speakersまたはBose Surround Speakersを後で接続した場合や、ベースモジュールや家具を移動した場合は、ADAPTIQ自動音場補正を実行して音質を調整します。

## 低音の調整方法を選択する

低音を調整する方法は、サウンドバーによって異なります。下の表から、低音の調整方法を選択してください。

サウンドバー	低音の調整方法
<b>Bose Soundbar 500または Bose Soundbar 700</b>	Bose Musicアプリを使用して低音を調整します(20ページを参照)。
<b>SoundTouch 300 soundbar</b>	サウンドバーのリモコンを使用して低音を調整します(20ページを参照)。 <b>注:</b> ニュースやトークショーなどの対話やトークのみの番組を最適な音質で楽しむには、「ダイアログモード」を有効にします。詳しくは、SoundTouch 300の取扱説明書をご覧ください。 次のサイトをご参照ください。 <a href="http://global.Bose.com/Support/ST300">global.Bose.com/Support/ST300</a>

## BOSE MUSICアプリを使用して低音を調整する

**注:** ベースモジュールがBose Soundbar 500またはBose Soundbar 700に接続されている場合は、アプリを使用してのみ低音を調整することができます。

1. Bose Musicアプリの[My Bose]画面で、サウンドバーを選択します。
2. 画面の右下にあるサウンドバーの画像をタップします。
3. [調整]をタップして低音を調整します。

## SOUNDTOUCH 300のリモコンを使用して低音を調整する

1. サウンドバーのリモコンのBASS ボタンを押します。



現在の低音設定に応じて、サウンドバーのインジケーターが点灯します。

低音設定	インジケータの状態
+4	    
+3	    
+2	    
+1	    
0 (デフォルト)	    
-1	    
-2	    
-3	    
-4	    

- 次のいずれかを実行して低音を調整します。


音量アップボタン  を押すと、低音の音量が上がります。

音量ダウンボタン  を押すと、低音の音量が下がります。

- BASS ボタンを押します。

現在の低音設定がサウンドバーに保存されます。

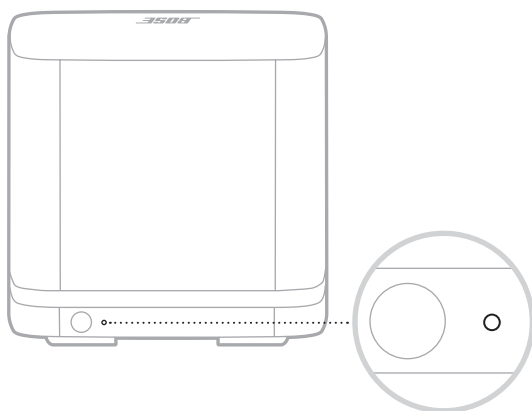
## 低音設定を元に戻す

サウンドバーのSoundTouchインジケータ  が2回点滅するまで、サウンドバーのリモコンのBASS ボタンを長押しします。

低音の設定が工場出荷時の状態に戻ります。

## ステータスインジケータ

モジュール背面のインジケータには、システムの状態が表示されます。



インジケータの状態	システムの状態
白の点灯	サウンドバーに接続されています
消灯	省電力モード
赤の点滅	エラー - Bose カスタマーサポートに連絡してください

## お手入れについて

ベースモジュールの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

### 注意:

ベースモジュールの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。

ベースモジュールの近くでスプレー等を使用しないでください。

溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。

開口部に異物が入り込まないようにしてください。

## 交換部品とアクセサリ

交換部品とアクセサリは、ボーズ製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください。 [worldwide.Bose.com/Support/BASS500](http://worldwide.Bose.com/Support/BASS500)

## 保証

製品保証の詳細は弊社Webサイトをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

## 最初にお試しいただくこと

ベースモジュールに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

ベースモジュールとサウンドバーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントに差し込みます。

すべてのケーブルをしっかりと接続します。

ベースモジュールの状態を確認します(19ページを参照)。

サウンドバーを干渉源になるような電気製品(無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど)から離します。

設置ガイドに沿ってベースモジュールを設置します(10ページを参照)。

## その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください。 [worldwide.Bose.com/contact](https://worldwide.Bose.com/contact)

症状	対処方法
モバイル機器で Bose Music アプリが動作しない	お使いのモバイル機器が Bose Music アプリに対応しており、システム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、モバイル機器のアプリストアをご参照ください。
音が途切れる/ 聞こえない	<p>システムのミュートを解除します。</p> <p>音量を上げます。</p> <p>サウンドバーで音が出ていることを確認します。音が出ていない場合は、サウンドバーの取扱説明書の「トラブルシューティング」の情報をご確認ください。次のサイトをご参照ください。</p> <p>Bose Soundbar 500: <a href="https://worldwide.Bose.com/Support/SB500">worldwide.Bose.com/Support/SB500</a></p> <p>Bose Soundbar 700: <a href="https://worldwide.Bose.com/Support/SB700">worldwide.Bose.com/Support/SB700</a></p> <p>SoundTouch 300: <a href="https://global.Bose.com/Support/ST300">global.Bose.com/Support/ST300</a></p> <p>ステータスインジケーターが白に点灯し、ベースモジュールがサウンドバーに接続されていることを確認します(19ページを参照)。</p> <p>別の接続機器で試してみます(可能な場合)。</p> <p>音楽や映画など、低音が含まれる音声を再生していることを確認します。</p> <p>設置ガイドに沿ってベースモジュールを設置します(10ページを参照)。</p>



症状	対処方法
<p>ベースモジュールの音質が良くない、音が歪む</p>	<p>別の接続機器で試してみます(可能な場合)。                      設置ガイドに沿ってベースモジュールを設置します(10ページを参照)。                      ベースモジュールから保護フィルムをすべて剥がします。                      ADAPTIQ自動音場補正を実行します(15ページを参照)。  <b>注:</b> ADAPTIQ用ヘッドセット(サウンドバーに付属)がお手元がない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。</p>
<p>低音が強すぎる/ 弱すぎる</p>	<p>システムの低音を調整します(19ページを参照)。                      ADAPTIQ自動音場補正を実行します(15ページを参照)。  <b>注:</b> ADAPTIQ用ヘッドセット(サウンドバーに付属)がお手元がない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。                      ベースモジュールを壁や部屋の隅から離します。</p>

## SOUNDTOUCH 300 SOUNDBARでADAPTiQ自動音場補正を完了できない

SoundTouch 300 soundbarでADAPTiQ自動音場補正を完了できない場合は、音声ガイドで次のエラーメッセージを確認します。

エラーメッセージ	症状	対処方法
1	ADAPTiQ用ヘッドセットのマイクで音声を検出できません。	すべてのケーブルをしっかりと接続します。  ADAPTiQ用ヘッドセットのケーブルを外して、サウンドバーのADAPTiQ端子にしっかりと接続し直します。  ADAPTiQ用ヘッドセットの上部にあるマイクの開口部が塞がれていないことを確認します。  ADAPTiQ用ヘッドセットが破損している可能性があります。Boseカスタマーサービスに連絡してヘッドセットを交換してください。
2	室内がうるさすぎます。	室内が静かになったら、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行します。
3	ADAPTiQ用ヘッドセットがスピーカーに近すぎます。	ADAPTiQ用ヘッドセットをスピーカーから離します。
4	測定するリスニングポジションが近すぎます。	既に測定したリスニングポジションから30～60 cm離れた場所まで移動します。
5	ADAPTiQ用ヘッドセットが動いたために測定できません。	測定中は、頭を動かさないようにしてください。

問題を解決した後で、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行する必要があります(15ページを参照)。

このほかのエラーメッセージが聞こえた場合は、Boseカスタマーサービスにご連絡ください。



